

次第

■こども未来課長挨拶

■議事

- (1) 前回の議事概要について
- (2) 働き方改革を推進するための施策について

議事(2)働き方改革を推進するための施策について

(委員の主な意見)

■働き方の見直しに対する意識の醸成

- ・セミナーは、県が制度説明会や園長会などに併せて実施したほうが効果的。
- ・労務管理制度の研修も必要。
- ・人手が足りないと言っているだけでは状況が変わらない。仕事の見える化を行わなければならない。

■仕事の効率化による業務負担の軽減

- ・連絡帳のICT化は、写真添付で園の様子がよく分かり、保護者にも好評。園児の出欠連絡にも使えるため、朝の忙しい時間帯の電話対応が減少。ただし、導入の際は保護者の理解が必要。
- ・ICT化の好事例集があると、園も導入しやすいのでは。セミナーで実践事例の紹介を行うと効果的ではないか。
- ・ICT導入担当リーダーを配置し、処遇改善等加算Ⅱの対象とすることで、職員の理解を得た事例もある。
- ・ICT化推進と園長等管理者の意識醸成は、一緒に進めていく必要がある。

- ・体動センサーの導入は精神的負担の軽減になる。
- ・保育士の業務を分担しサポートするため、子育て支援員などの保育補助者の配置を推進する。
- ・改革の効果的な進め方が確立されていないため、専門家の支援によりモデル園で取組を実践し、ノウハウを共有して横展開を図る。
- ・改革を推進するためには中堅リーダーの養成も重要。
- ・運動会やイベントで使う制作物を近隣園で共有してはどうか。また、行事のアイデアや製作する型紙のシェアも有効ではないか。
- ・園児の制作物を壁面装飾に使うことで、職員の負担軽減に繋がる。

■働き方の見直しを効果的に進めるための取組

- ・中高生の受入れを積極的に行う。将来就きたい職業を決める大事な時期に受け入れることで、保育士を目指すきっかけになるのではないか。
- ・インターンシップが重要。
- ・保育士の素晴らしさをPRすることも必要。
- ・園の良さをいかに発信するか。保育士・保育所支援センターの機能強化を行い、園のHPや就職情報等を1つにまとめたポータルサイトを設置する。
- ・ならし保育のときに保護者の保育所一日保育体験を行うなど、園の実情の理解を深めるための取組を行う。